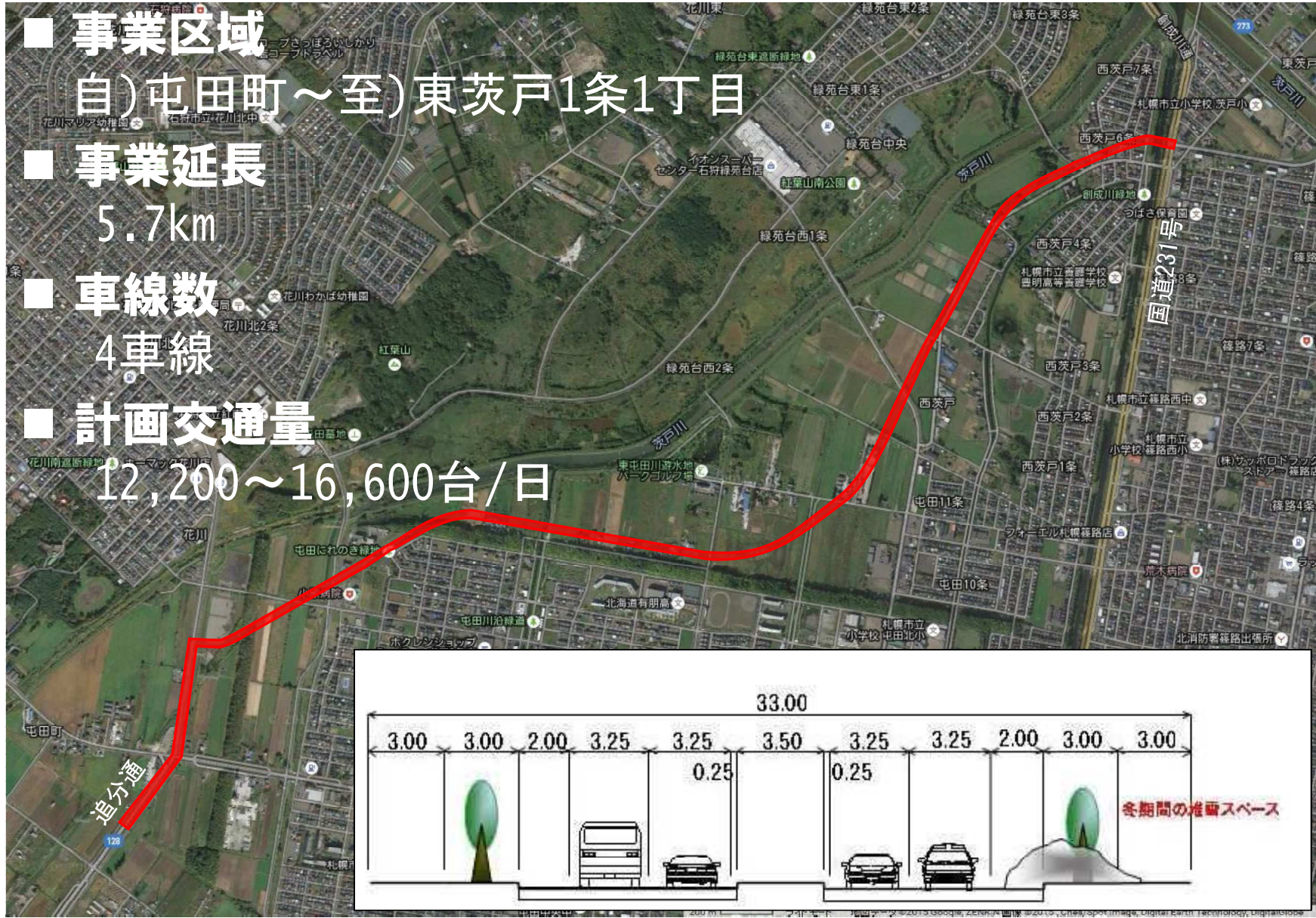


3・2・616屯田・茨戸通 事前調査報告について

平成27年10月19日
札幌市建設局土木部

事業地の位置と内容

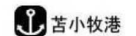


対象事業の目的

- 主要都市間をつなぐ連携道路
- 道央都市圏の骨格道路網の形成
- 交通円滑化
- 渋滞緩和によるCO2削減



出典：道央都市圏の都市交通マスタープラン



市長からの意見に対する見解（H18アセス時）

札幌市環境影響評価条例第24条第1項に基づく準備書に対して述べられた市長からの環境の保全の見地からの意見の概要と事業者の見解(環境影響評価書 第14章 第2節) 【平成18年3月】

| 項目 | 意見の概要 | 事業者の見解 |
|-----------|---|--|
| 事業時における調査 | <p>自動車走行にともなう大気汚染、道路交通騒音については、事業の実施前後で確認を行うこと。</p> <p>ハイタカやオオジシギ及びコウモリやカタツムリの貴重種について、その生息状況を事前に確認すること。</p> <p>なお、これらを実施した時は、適宜その結果を審議会に報告し、適切な措置を講じること。</p> | <p>自動車の走行にともなう大気汚染、道路交通騒音については、事業の実施前後において状況を確認する調査を実施します。</p> <p>ハイタカやオオジシギ及びコウモリやカタツムリの貴重種について、その生息状況の確認のために、事業実施前に調査を行います。</p> <p>なお、これらを実施した時は、適宜その結果を審議会に報告し、必要に応じ、適切な措置を講じます。</p> |

調査項目

事業前（H24～26）

| 調査名 | 調査項目 | 調査箇所数 | 回数及び時期 |
|-----------|---------------------|--------------------|------------------------------|
| 大気調査 | 二酸化窒素 浮遊粒子状物質 | 2箇所 | 4回（H26.4月、7月、 10月、H27.1月） |
| 騒音調査 | 騒音 | 13箇所 | 1回（H26.10月） |
| 貴重種 調査 | 鳥類 コウモリ類 陸生貝類 | 計画路線 及び その周辺 | 各2～4回 （H24.5月～H25.1月） |

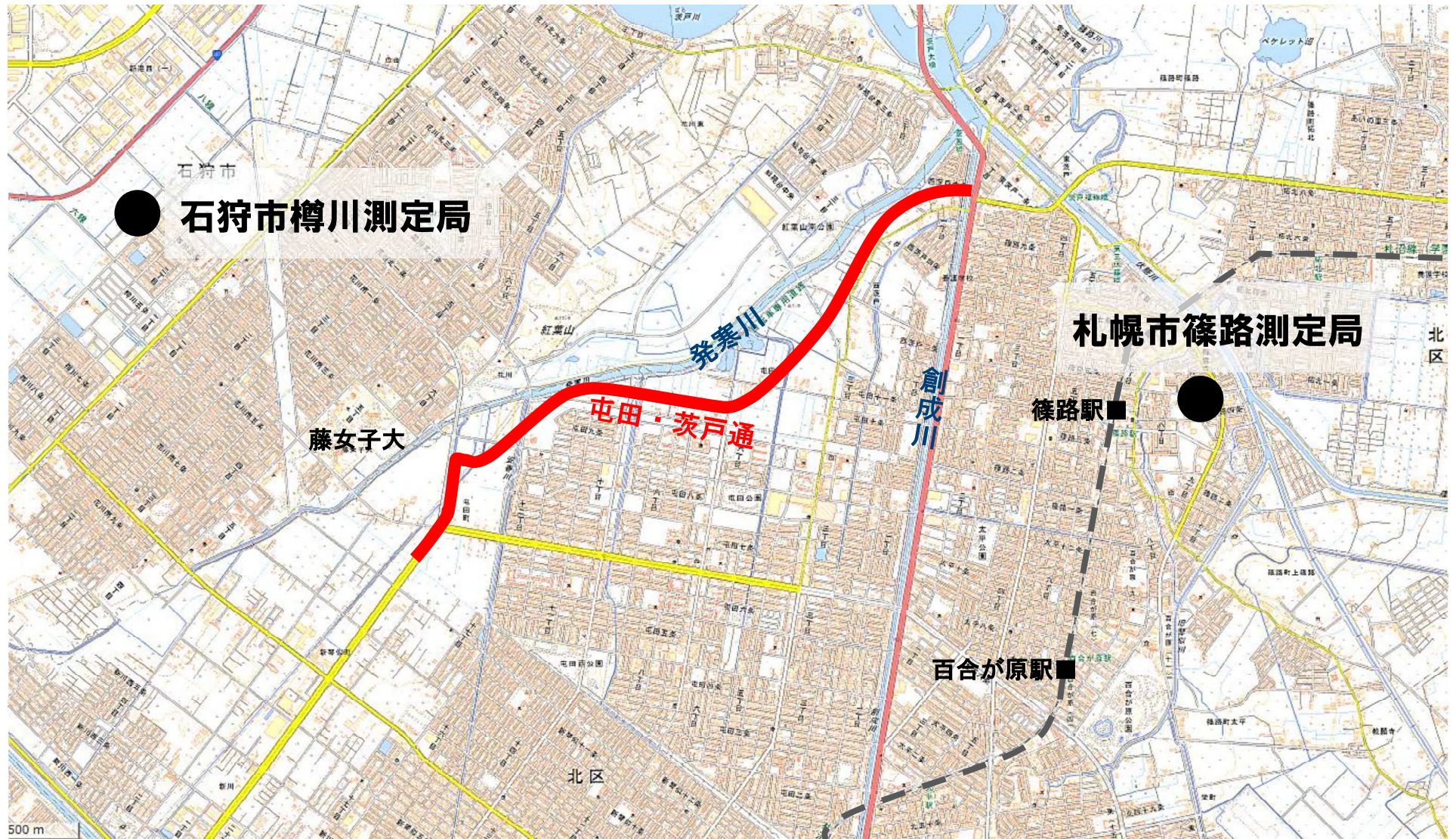
参考：アセス時（H18）

| 調査名 | 調査項目 | 調査箇所数 | 回数及び時期 |
|-----------|------------------|--------------------|---------------------------|
| 大気調査 | 二酸化窒素 浮遊粒子状物質 | 未測定 | - |
| 騒音調査 | 騒音 | 5箇所 | 1回（H16.10月） |
| 貴重種 調査 | 鳥類 | 計画路線 及び その周辺 | 各2～4回 （H15.9月～H16.10月） |

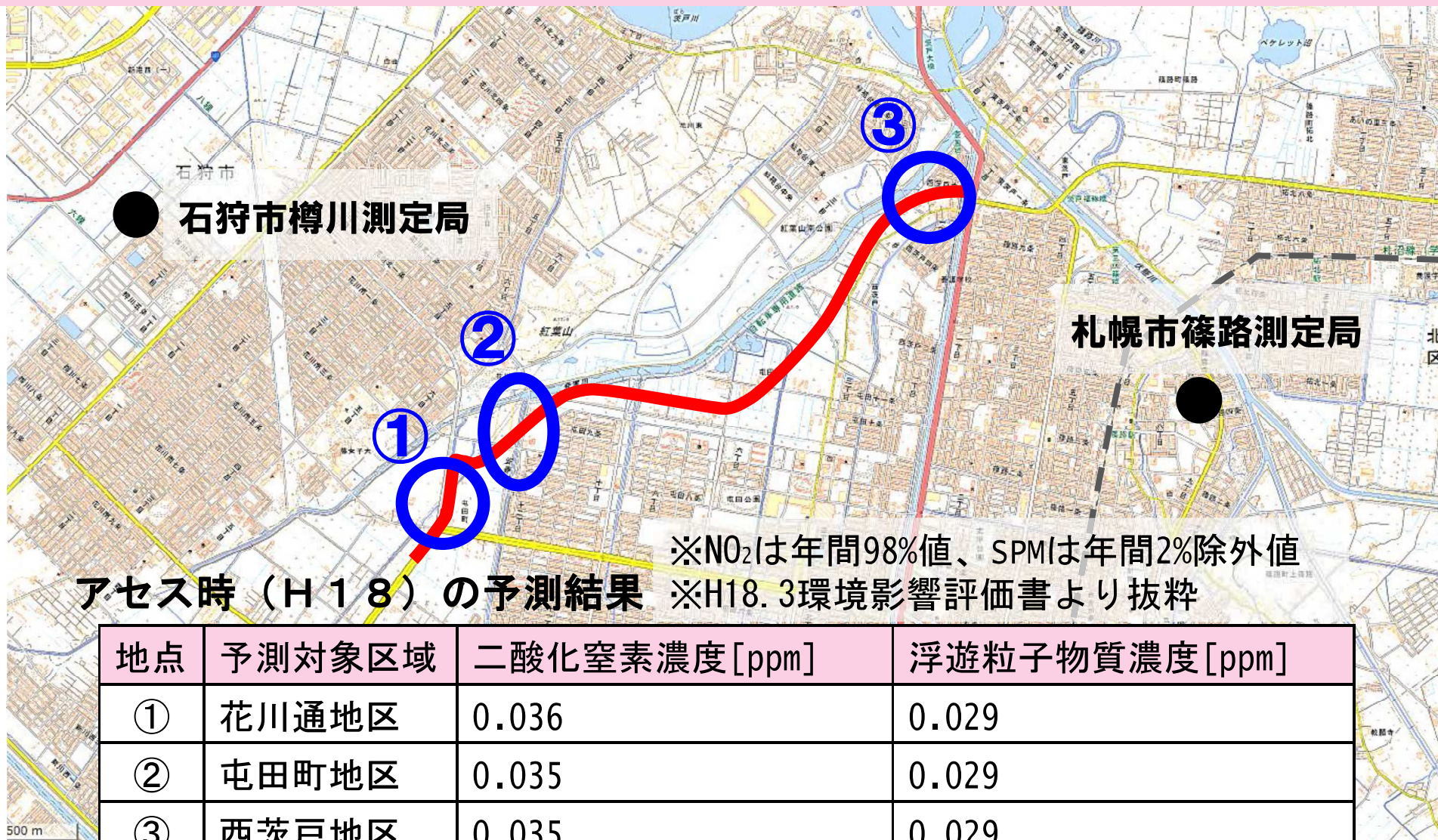
調査方法及び評価方法（事業前H24～H26）

| 調査名 | 調査方法 | 評価方法 |
|-------|---|----------|
| 大気調査 | 「二酸化窒素に係る環境基準について」及び「大気の汚染に係る環境基準について」に定める方法に準拠し7日間連続測定 | 環境基準との比較 |
| 騒音調査 | 騒音に係る環境基準の評価マニュアル、日本工業規格JIS Z 8731騒音レベル測定方法に準拠し24時間連続測定 | 環境基準との比較 |
| 貴重種調査 | 鳥 類：ラインセンサス法 コウモリ類：バットディテクター調査 陸生貝類：任意採集法 | 生息確認 |

大気調査（各測定局位置図）



自動車走行にかかるNO₂,SPM濃度予測（H18アセス時）



⇒環境基準との整合が図られている

大気調査の経年変化（H15～H25）

| 測定物質 | 測定箇所 | H 1 5 (アセス調査) | H 2 0 | H 2 5 |
|-------------------------------|----------|------------------|-------|-------|
| 二酸化窒素濃度 [ppm] | 樽川 ※1 | 0.015 | 0.010 | 0.010 |
| | 篠路 ※2 | 0.016 | 0.011 | 0.010 |
| 浮遊粒子物質濃度 [mg/m ³] | 樽川 | 0.013 | 0.014 | 0.013 |
| | 篠路 | 0.013 | 0.012 | 0.013 |

※1 石狩市樽川測定局 ※2 札幌市篠路測定局
■測定局の値は、年平均値を使用

⇒アセス調査時から著しい濃度の違いは見られない

大気調査（H26事業前）

調査箇所

調査時期

平成26年4月、7月、10月、平成27年1月

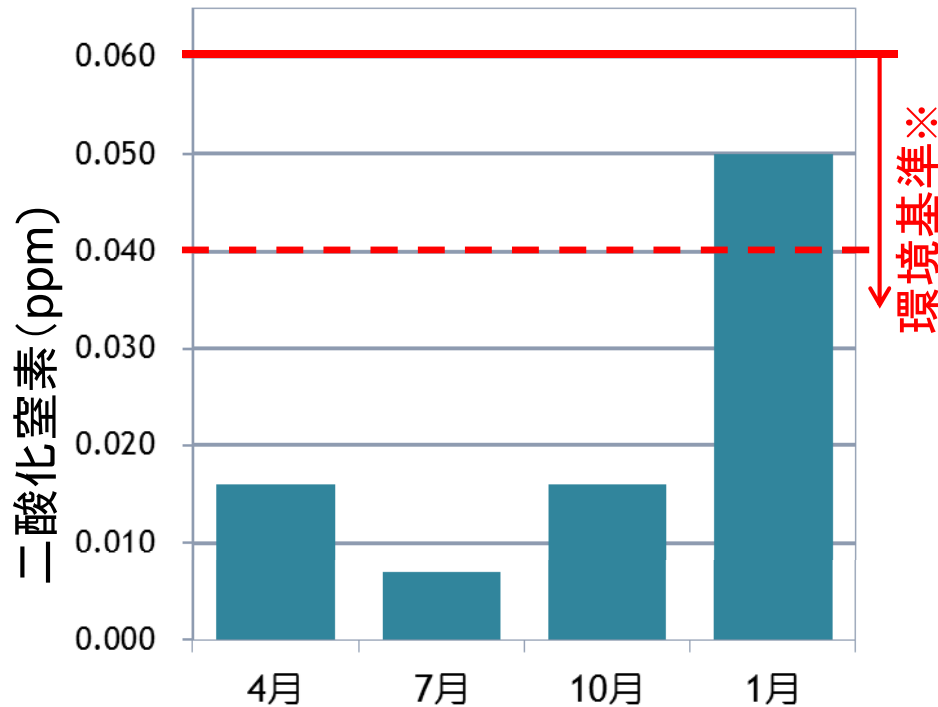
No.1 屯田地区

No.2 西茨戸地区

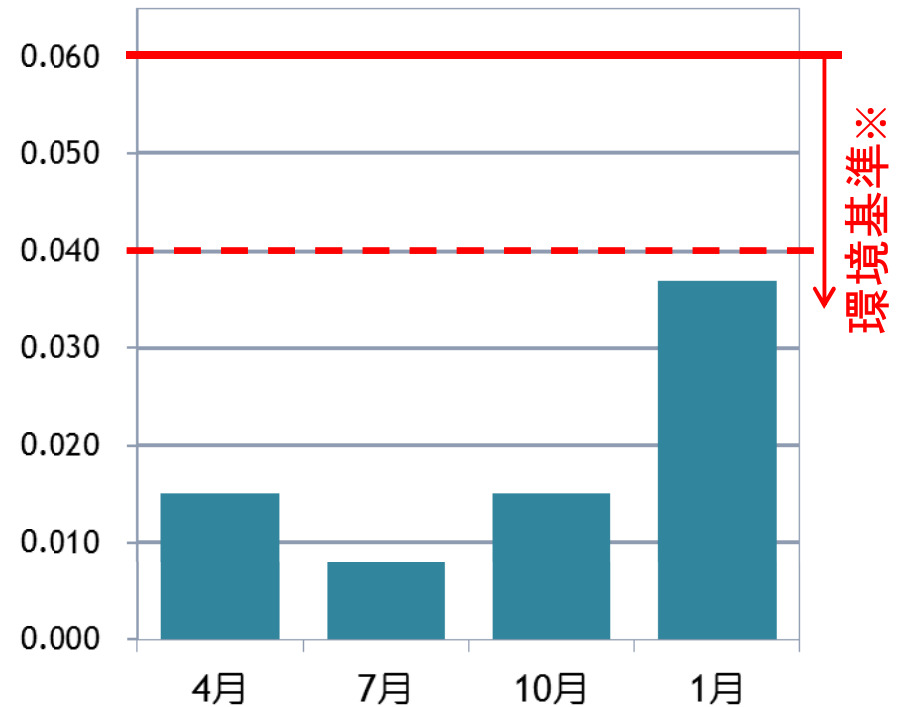


二酸化窒素調査結果（H26事業前）

No.1 屯田地区



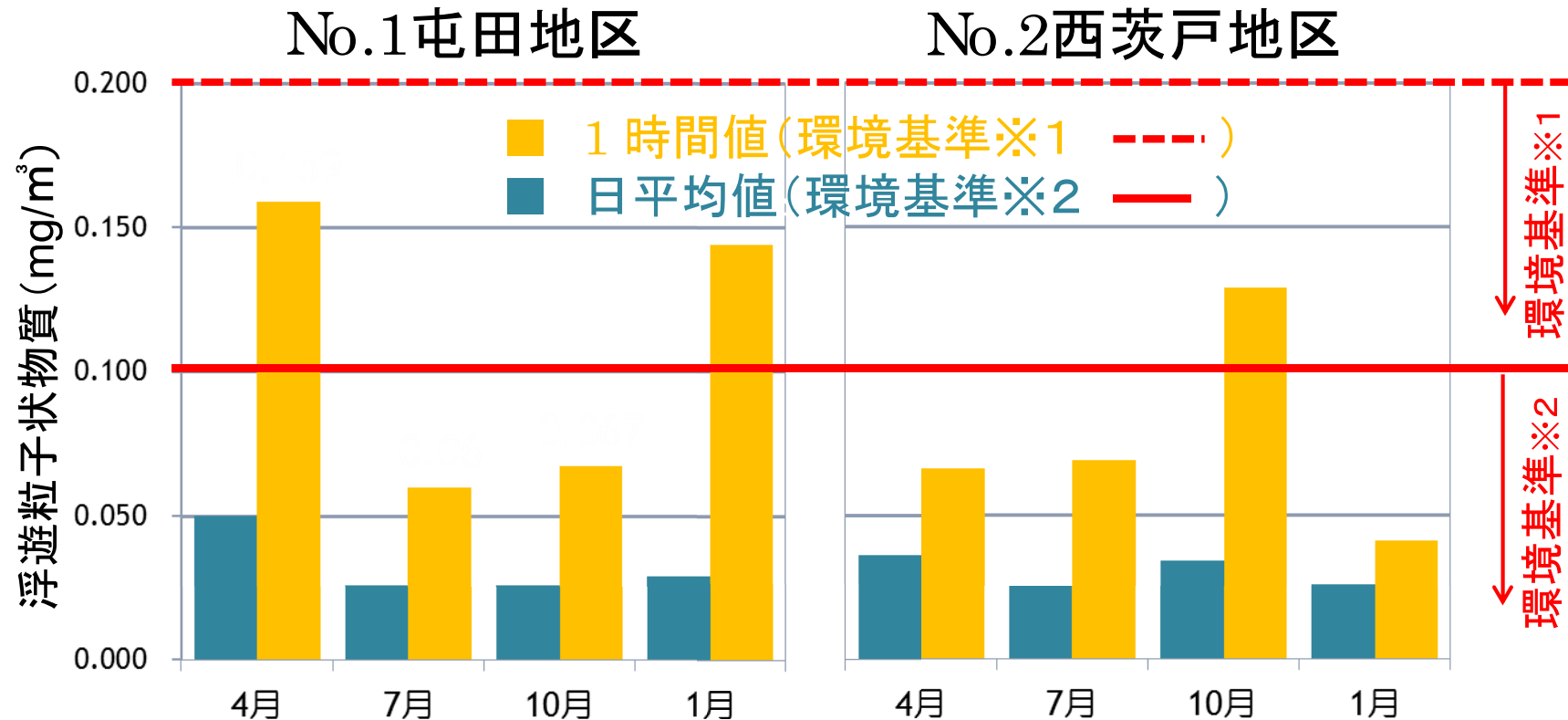
No.2 西茨戸地区



⇒ No.1、No.2両地点において環境基準※を満足

※日平均値が0.04～0.06ppmの範囲内又はそれ以下

浮遊粒子状物質調査結果（H26事業前）



⇒ No.1、No.2両地点において環境基準※を満足

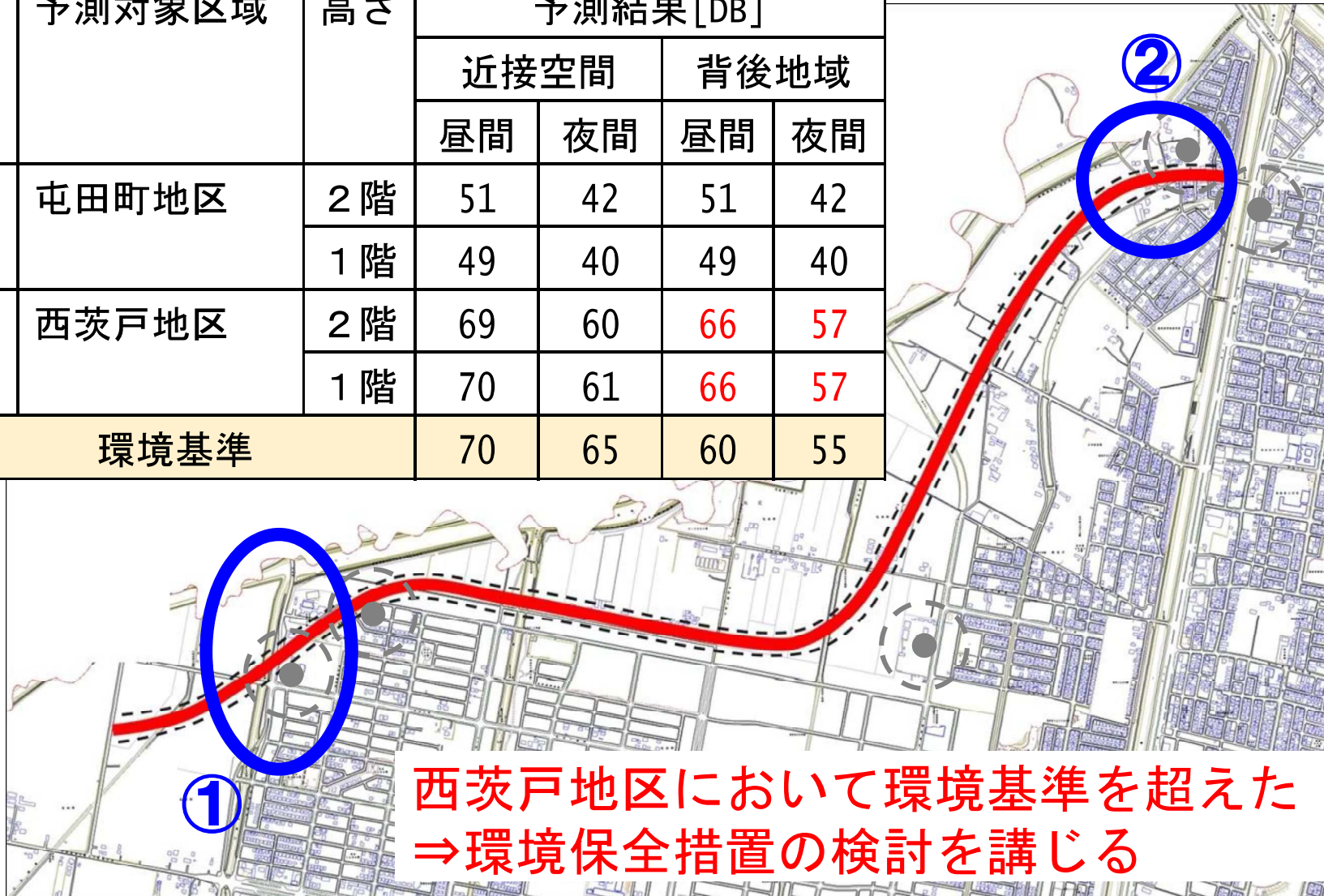
※1 1時間値が0.20mg/m³以下(※1)かつ
日平均値が0.10mg/m³以下(※2)

自動車の走行にかかる騒音予測（H18アセス時）

アセス時の騒音予測結果

※H18.3環境影響評価書より抜粋

| 地点 | 予測対象区域 | 高さ | 予測結果[DB] | | | |
|------|--------|----|----------|----|------|----|
| | | | 近接空間 | | 背後地域 | |
| | | | 昼間 | 夜間 | 昼間 | 夜間 |
| ① | 屯田町地区 | 2階 | 51 | 42 | 51 | 42 |
| | | 1階 | 49 | 40 | 49 | 40 |
| ② | 西茨戸地区 | 2階 | 69 | 60 | 66 | 57 |
| | | 1階 | 70 | 61 | 66 | 57 |
| 環境基準 | | | 70 | 65 | 60 | 55 |

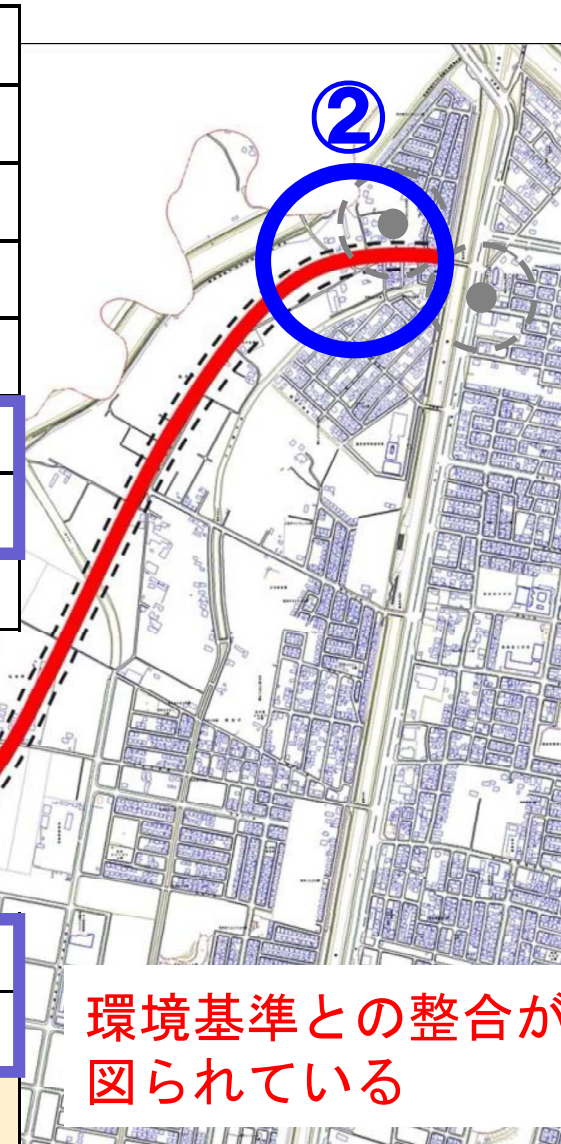


自動車の走行にかかる騒音予測（H18アセス時）

アセス時の騒音予測結果

※H18.3環境影響評価書より抜粋

| 地点 | 予測対象区域 | 高さ | 予測結果[DB] | | | |
|------|--------|----|----------|----|------|----|
| | | | 近接空間 | | 背後地域 | |
| | | | 昼間 | 夜間 | 昼間 | 夜間 |
| ① | 屯田町地区 | 2階 | 51 | 42 | 51 | 42 |
| | | 1階 | 49 | 40 | 49 | 40 |
| ② | 西茨戸地区 | 2階 | 69 | 60 | 66 | 57 |
| | | 1階 | 70 | 61 | 66 | 57 |
| 環境基準 | | | 70 | 65 | 60 | 55 |



- ・遮音壁の設置
- ・排水性舗装
- ・環境施設帯の設置

| | | | | | | |
|------|----------------|----|----|----|----|----|
| ② | 西茨戸地区 (対策後) | 2階 | 64 | 55 | 59 | 50 |
| | | 1階 | 54 | 45 | 58 | 49 |
| 環境基準 | | | 70 | 65 | 60 | 55 |

環境基準との整合が
図られている

騒音調査地点（H26事業前）

調査箇所

調査時期：
平成26年10月

調査箇所：
全5地点、13箇所を実施

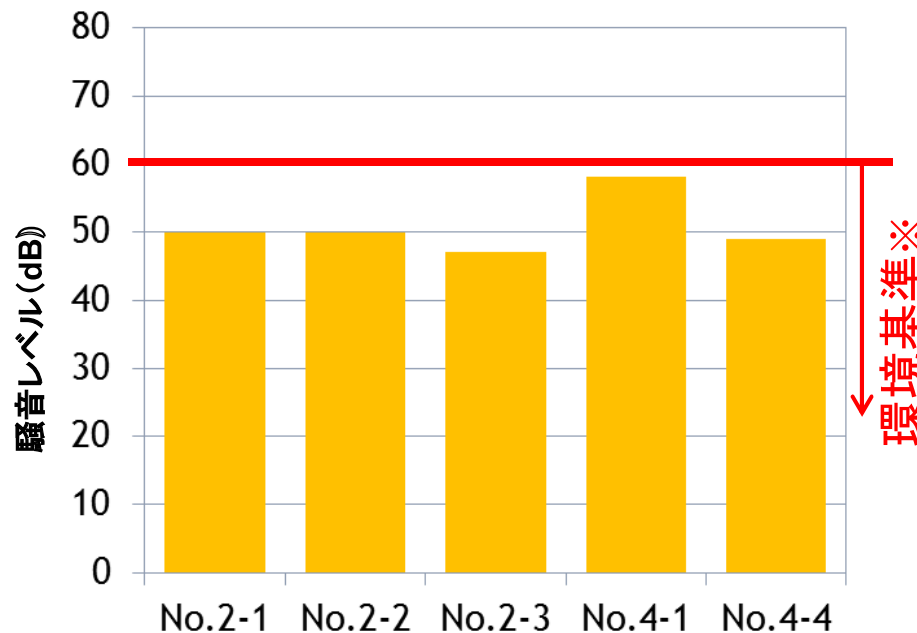


騒音調査結果（A類型、H26事業前）

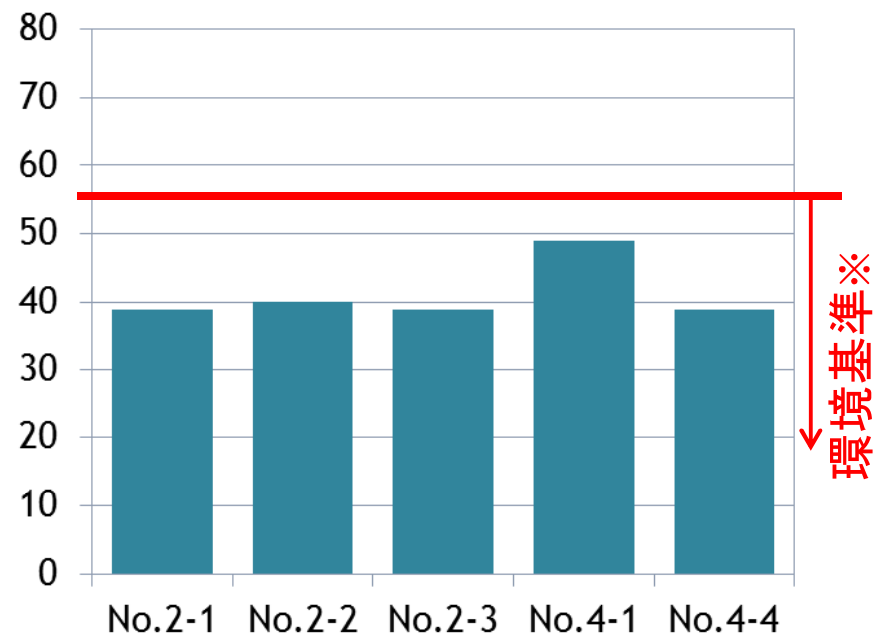
A類型：専ら住居の用に供される地域

第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、
第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域

昼間



夜間



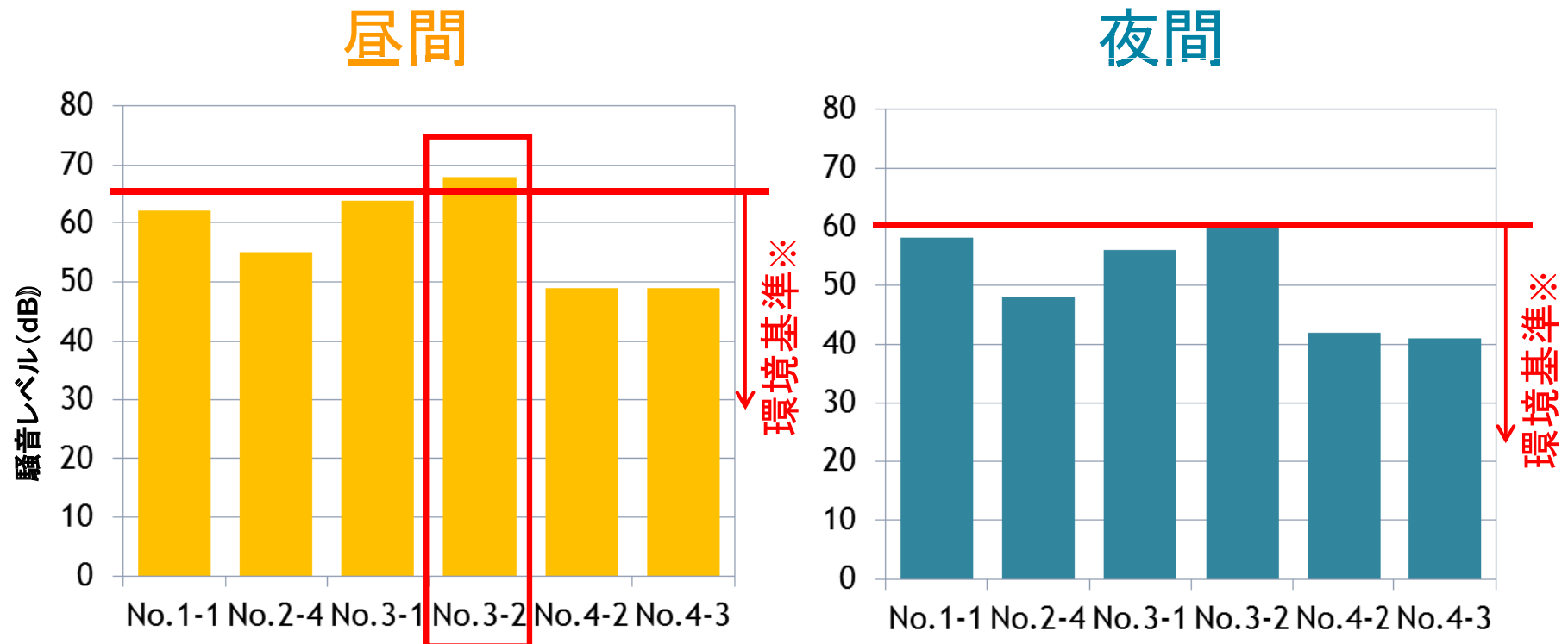
⇒昼間・夜間ともに環境基準※を満足

※昼間:60dB以下 夜間:55dB以下

騒音調査結果（B類型、H26事業前）

B類型：主として住居の用に供される地域

第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域



⇒一部の区間で環境基準※を超過

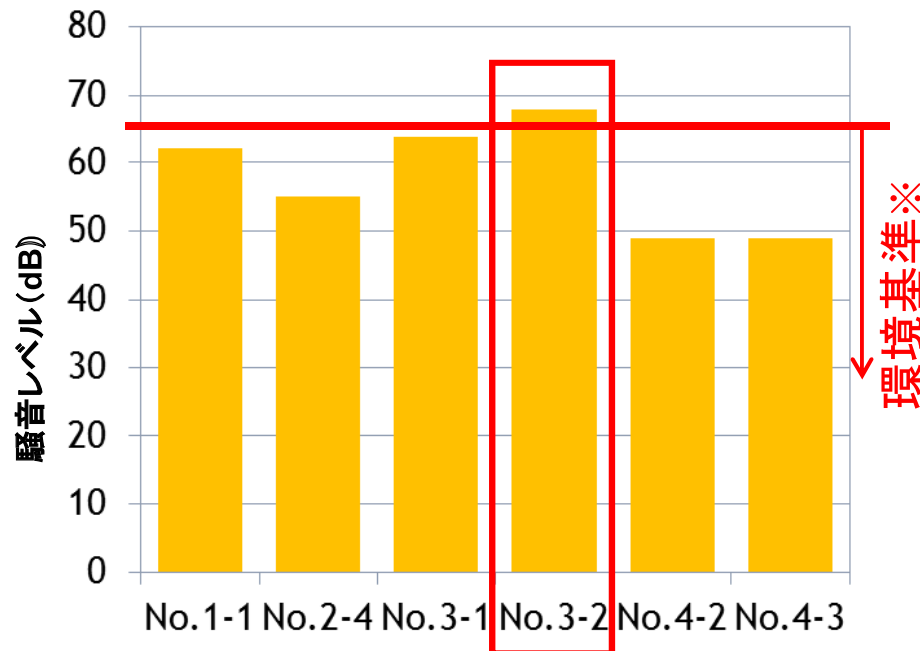
※昼間:65dB以下 夜間:60dB以下

騒音調査結果（B類型、H26事業前）

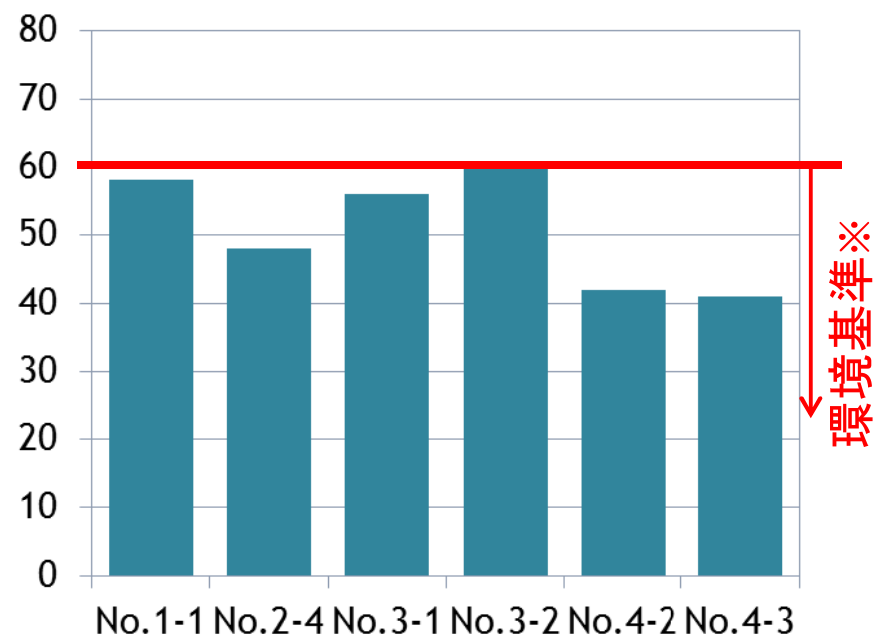
B類型：主として住居の用に供される地域

第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域

昼間



夜間

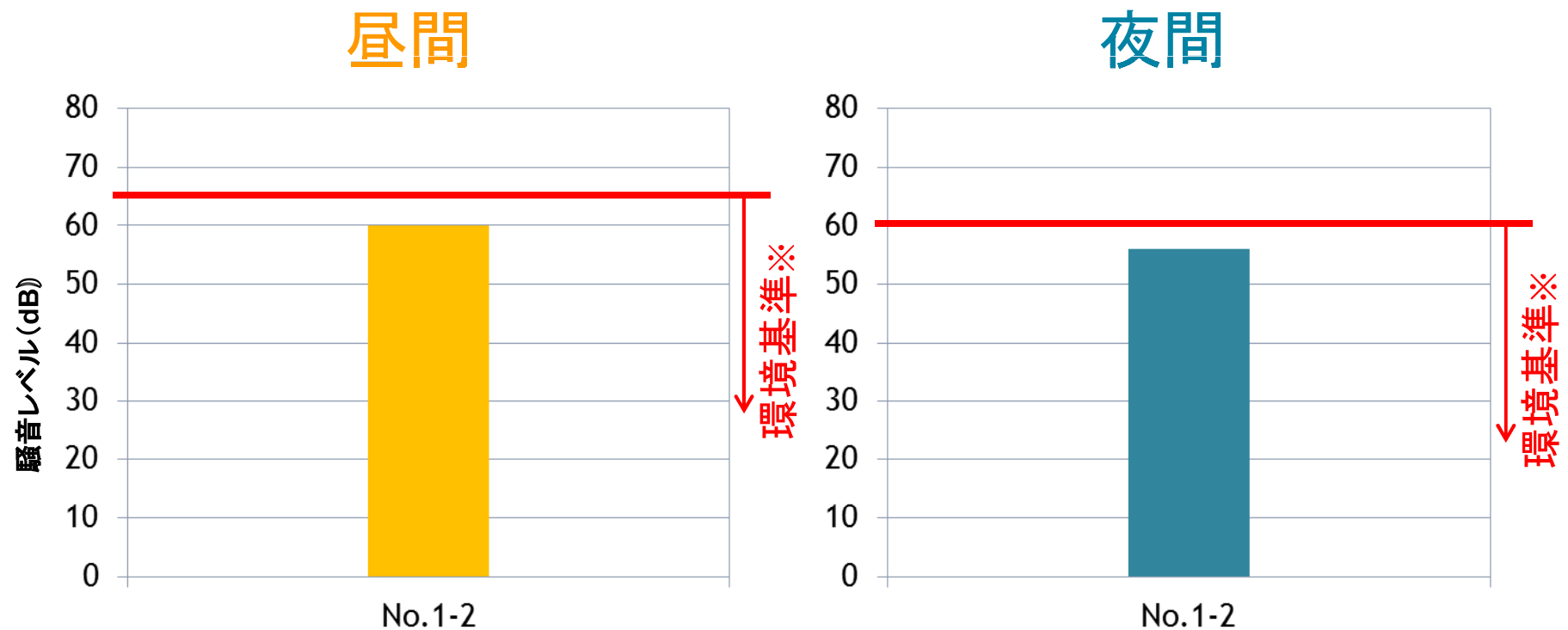


基準値の超過を確認

⇒運搬経路とする際には、運搬車両の低速運行を徹底

騒音調査結果（C類型、H26事業前）

C類型：相当数の住居と併せ商業、工業等の用に供される地域
近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域



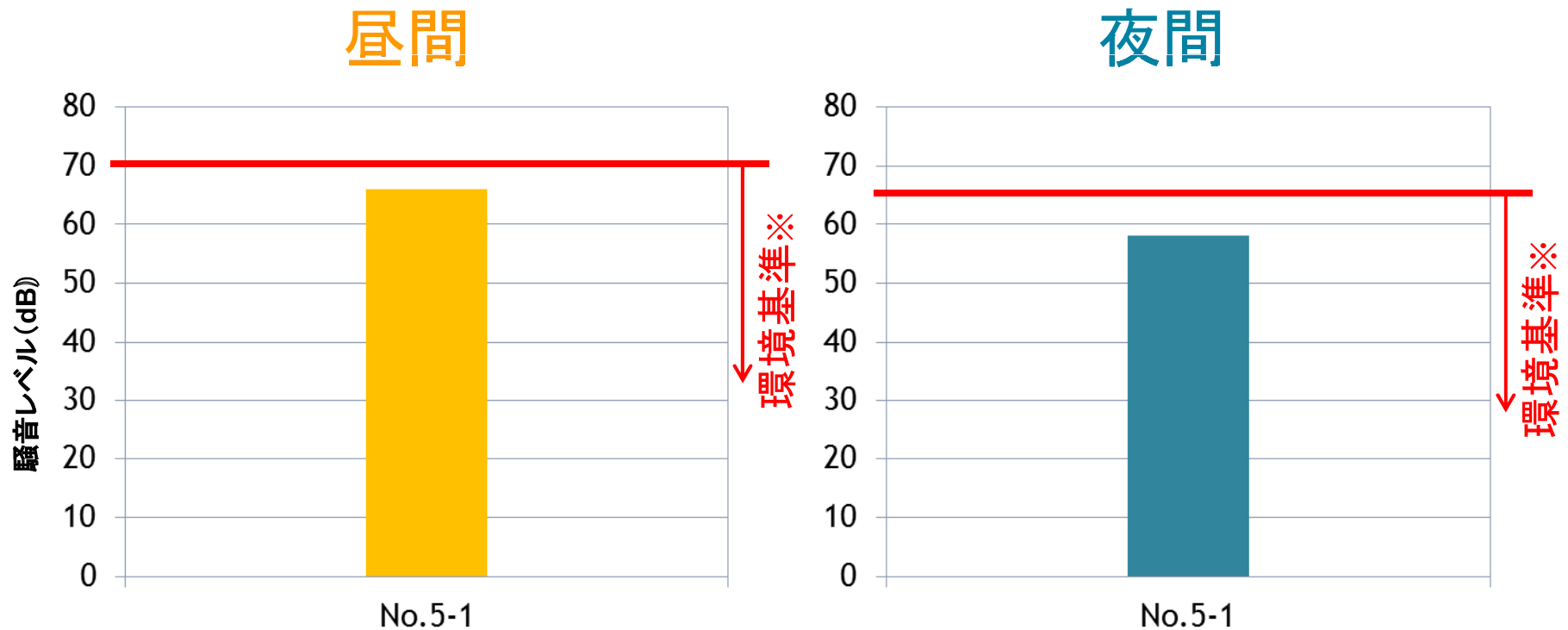
⇒昼間・夜間ともに環境基準※を満足

※昼間:65dB以下 夜間:60dB以下

騒音調査結果（C類型 近接、H26事業前）

近接：

幹線道路近接空間に関する特例として、2車線以上で道路端から20mの区域



⇒ 昼間・夜間ともに環境基準※を満足

※ 昼間: 70dB以下 夜間: 65dB以下

騒音調査地点（H18アセス時）

調査箇所

調査時期：平成16年10月

調査地点：全5地点



騒音調査：アセス調査と事業前調査の比較

| 地点 | 道路名 | 調査地点 | 時間区分 | 騒音レベル[dB] | | 環境基準 | 類型区分 |
|----|----------|--------------|------|-----------|-----|------|------|
| | | | | アセス時(H16) | H26 | | |
| ① | 新琴似第5横通 | 屯田 9条12丁目 | 昼間 | 65 | 62 | 70 | B |
| | | | 夜間 | 60 | 58 | 65 | |
| ② | - | 屯田 9条11丁目 | 昼間 | 47 | 51 | 55 | A |
| | | | 夜間 | 42 | 41 | 45 | |
| ③ | 札幌北広島環状線 | 屯田町 | 昼間 | 66 | 64 | 70※ | - |
| | | | 夜間 | - | 56 | 65※ | |
| ④ | - | 西茨戸 6条1丁目 | 昼間 | 47 | 49 | 55 | A |
| | | | 夜間 | 41 | 42 | 45 | |
| ⑤ | 国道231号線 | 篠路 10条1丁目 | 昼間 | 67 | 66 | 70 | C |
| | | | 夜間 | 62 | 58 | 65 | |

※道路交通騒音を調査対象とした①③⑤には「幹線交通を担う道路に近接する空間」、
生活騒音を調査対象とした②④には「一般地域」の環境基準を当てはめた

※地点③は類型区分がなされていない地域であるが参考のため併記

(H18.3環境影響評価書より抜粋)

⇒著しい騒音レベルの違いは見られず、概ね同様であった

まとめ（大気調査・騒音調査）

| 調査名 | 調査結果 | 事業者の見解 |
|------|---|--|
| 大気調査 | <ul style="list-style-type: none">▪ 近傍の大気測定局と比較しても著しい違いは見受けられず▪ 今回調査した結果についても環境基準を満足していた | <ul style="list-style-type: none">▪ アセス当時から新たな環境保全措置は不要と判断 |
| 騒音調査 | <ul style="list-style-type: none">▪ アセス調査結果と比較しても著しい違いは見受けられない▪ 今回調査した結果については、1地点で環境基準を超過していたが、他の調査地点では環境基準を満足していた | <ul style="list-style-type: none">▪ 西茨戸地区については、アセス時に必要と判断した環境保全措置を実施▪ H26調査にて確認された基準値の超過地点においては、運搬経路とする際には運搬車両の低速運行等を徹底 |